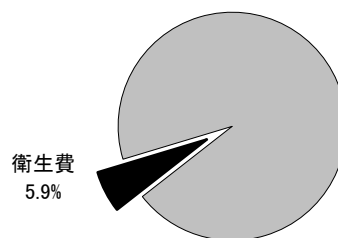


■一般会計に占める割合

第4款 衛生費



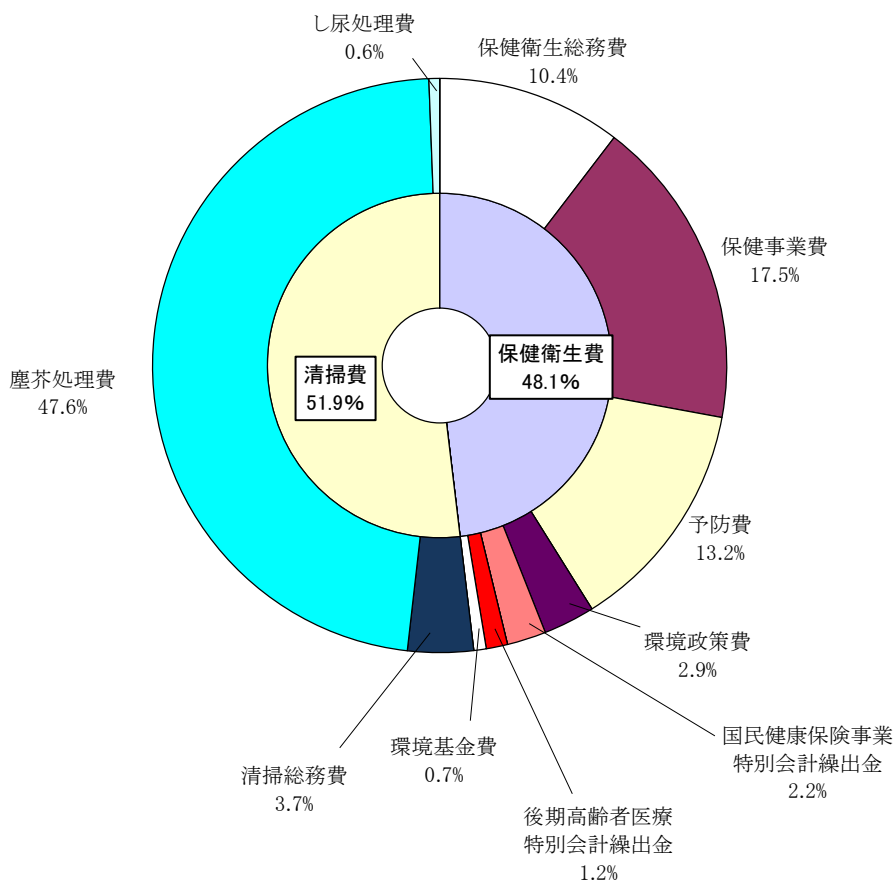
■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	財源構成			
		国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成31年度	4,069,991	364,013	0	655,649	3,050,329
平成30年度	4,105,170	364,387	0	612,911	3,127,872
増△減	△ 35,179	△ 374	0	42,738	△ 77,543

予算額項別目別構成比

内円：項  
外円：目



## 保健衛生費

## 1 休日診療所・休日調剤薬局等の一体的な整備 《新規》 6,923千円

## ＜休日診療所・休日調剤薬局等の一体的整備事業費＞

休日・休日準夜間診療所、小児初期救急平日準夜間診療所、休日歯科応急診療所、休日調剤薬局の一体的な整備を進め、利便性の向上と事務の効率化等を図ります。平成31年度は、平成33年度（2021年度）中のオープンに向け、基本プランの策定及び基本設計を行います。

## 〔施設整備の予定地〕

市民センター北側の暫定駐輪場用地

所在地 下連雀九丁目348-1

敷地面積 616.85㎡

## 〔主な検討内容〕

計画敷地の現況調査、必要な施設機能・面積、諸室の配置プラン、概算工事費、施設の管理運営方法、施設整備スケジュール、賃料や光熱水費の負担のあり方など

## 〔スケジュール〕

平成31年度 基本プランの策定及び基本設計

平成32年度（2020年度） 実施設計

平成33年度（2021年度） 施設整備工事、施設オープン

－ 健康長寿社会 －

## 2 「ウェルカム ベビー プロジェクト みたか」の推進 39,317千円

## (1) 乳児健康診査の拡充 《拡充》 5,448千円

## ＜妊婦・乳児健康診査等関係費＞

平成31年度から都内市区町村において新生児聴覚検査の検査料の一部助成を一斉に実施し、安心して子育てができる環境の整備を推進します。

## 〔事業概要〕

## 新生児聴覚検査

実施時期 おおむね生後3日以内

実施場所 都内分娩医療機関など

助成額 3,000円

－ 子ども・子育て支援 －

## (2) 出産・子育て応援事業の推進 24,198千円

## ＜出産・子育て応援事業費＞

総合保健センターを拠点として、妊婦全員を対象に保健師等の専門職による「ゆりかご面接」を引き続き実施し、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に取り組みます。

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

国庫支出金	1,136千円	都支出金	22,303千円
一般財源	759千円		

## (3) 産後ケア事業の推進 9,671千円

## ＜産後ケア事業費＞

産後うつを発症しやすい産後4か月頃までの産婦とその乳児のうち、家族等からの十分な育児等の支援が受けられない方に対して、市内医療機関において、心身の安定や回復を促すデイケア型産後ケア事業「ゆりかごプラス」を推進します。

## 〔事業概要〕

実施内容	日帰り型デイケア
実施場所	Mama & Baby あきやま（上連雀一丁目1-5）
自己負担	2,000円（非課税世帯 1,000円、生活保護受給世帯 無料）

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

国庫支出金	4,835千円	都支出金	2,417千円
一般財源	2,419千円		

## ■Mama &amp; Baby あきやま（赤ちゃんの部屋（左）、相談室（右））



## 3 子ども発達支援講座（仮称）等による育児支援の拡充 1,233千円

## ＜1歳6か月児健康診査関係費、産後うつ病対策事業費＞

保健師等によるフォローの必要な方の早期発見につなげるため、1歳6か月児健康診査当日に講座を案内し、受講後も継続的な支援に取り組みます。

また、産後うつ病対策事業において、心理相談員による母親への相談体制の強化を図ります。

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

都支出金	328千円	一般財源	905千円
------	-------	------	-------

## 4 胃がん検診の内視鏡検査の実施 《拡充》 28,150千円

## ＜がん検診関係費＞

胃がん検診について、平成28年2月に国の指針が改正され、内視鏡検査が市区町村の行う検診として推奨されたことを踏まえ、新たに同検査による個別検診を開始します。平成31年度は、経過措置としてX線検査（集団検診）を併用して実施します。

なお、内視鏡検査の実施にあたっては、受診者の一部費用負担（2,000円）とし、受益と負担の適正化を図ります。

－ 健康長寿社会 －

## 5 BCG予防接種の個別接種化 《拡充》 15,272千円

## ＜乳幼児等予防接種事業費＞

集団接種により実施しているBCG予防接種について、平成31年4月から各医療機関での個別接種へ移行し、更なる利便性の向上と接種機会の拡充を図ります。引き続き公費負担で実施するとともに、近隣市区との相互乗入を開始します。

なお、平成31年度は経過措置として、集団接種を併用して実施します。

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

諸収入	1,095千円	一般財源	14,177千円
-----	---------	------	----------

## 6 風しん抗体検査及び予防接種事業の推進 13,453千円

## ＜先天性風しん症候群対策予防接種事業費＞

19歳以上の妊娠を予定または希望している女性を対象に実施している風しん抗体検査及び予防接種について、引き続き、その同居者及び妊婦の同居者を対象者に加え実施します。

－ 健康長寿社会 －

## 【財源内訳】

都支出金	11,060千円	一般財源	2,393千円
------	----------	------	---------

## 7 「三鷹市環境基本計画2022」の第2次改定 352千円

## ＜環境保全審議会関係費＞

「第4次三鷹市基本計画」の第2次改定と整合を図りながら、「三鷹市環境基本計画2022」の第2次改定を行います。平成27年度から平成30年度までの成果と課題を整理するとともに、国の制度改正、近年の環境に関わる国内外の動向や変化等を踏まえ、各施策の方向性の検討を進めます。改定にあたっては、環境保全審議会で審議を行うとともに、パブリックコメント等により、幅広く市民の意見を反映しながら取り組みます。

－ サステナブル都市 －

## 8 PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物の適正な処理 《拡充》 70,824千円

## ＜PCB廃棄物処理事業費＞

高濃度PCB廃棄物については、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」及び「東京都ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画」により、平成35年（2023年）3月31日までに適正処理を行う必要があります。市が保管している高濃度PCB廃棄物について、平成30年度に引き続き、処理施設への運搬と処理を実施します。

また、PCB廃棄物の期限内での処理を徹底するため、平成30年2・3月に実施した公共施設の再調査の結果を踏まえ、PCB含有の疑いのある機器について計画的に分析調査・処理等を行います。

－ 安全安心 －

## 清掃費

## 1 「三鷹市ごみ処理総合計画2022」の改定 398千円

## ＜ごみ減量等推進会議関係費＞

平成28年3月に策定した「三鷹市ごみ処理総合計画2022」について、「第4次三鷹市基本計画」の第2次改定と整合を図りながら改定を行います。既に目標を達成している1人1日当たりのごみ排出量の新たな目標数値の設定や「食べきり運動」など、各施策の方向性の検討を進めます。改定にあたっては、ごみ減量等推進会議の代表者会議に学識経験者を加え検討を行うとともに、パブリックコメント等により、幅広く市民の意見を反映しながら取り組みを進めます。

－ サステナブル都市 －

## 2 新川暫定広場の円滑な運営 《新規》 6,902千円

## ＜新川暫定広場管理関係費＞

環境センター跡地について、当面の間、敷地の一部を暫定的に活用し、平成31年3月から健康憩い広場、ボール遊び広場などの機能を有する広場として開放します。ボール遊び広場内球技場は、生涯学習施設等予約システムを活用し、安全面に配慮しながら円滑な施設運営を行います。

なお、暫定利用期間については、「第4次三鷹市基本計画（第1次改定）」及び「三鷹市ごみ処理総合計画2022」の改定作業の中で検討するとともに、引き続き将来的な課題である解体後の利活用について検討を進めます。

## 〔施設概要〕

## 新川暫定広場

- ・整備内容 健康憩い広場、ボール遊び広場、ランニング走路、駐輪場など
- ・所在地 新川一丁目6-1（環境センター跡地）
- ・開場日 年中無休（年末年始を除く）
- ・開放時間 午前9時～午後5時（夏季：午後6時まで、冬季午後4時半まで）
- ・利用区分  
ボール遊び広場球技場以外 自由開放  
ボール遊び広場球技場 原則1区分2時間（※）
- ・利用料金 無料

※生涯学習施設等予約システムにより予約（要団体登録）が必要です。第2土曜日・第4日曜日及び予約のない時間帯は自由開放となります。

－ 地域活性化 －

## 3 「市町村分別収集計画」の策定 583千円

## ＜ごみ減量啓発関係費＞

「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）」に基づき「第9期分別収集計画」を策定します。

## 〔計画内容〕

容器包装廃棄物のうち、容器包装プラスチック、缶、びん、ペットボトルなどの排出見込量や排出抑制の方策等を定め、ごみの発生抑制とリサイクルの推進による循環型社会の形成を目指します。

－ サステナブル都市 －

## 4 食べきり運動の推進 《拡充》 1,289千円

## ＜食べきり運動推進事業費＞

平成30年5月30日（ゴミゼロの日）から実施している「三鷹市食べきり運動」について、更なる食品ロスの削減に向けて食べきり運動協力店の募集・認定を継続するとともに、ごみの排出抑制、減量を推進します。

－ サステナブル都市 －

## 【財源内訳】

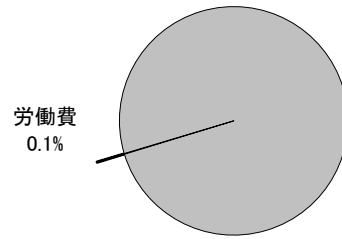
諸 収 入 486千円 一 般 財 源 803千円

## ■協力店認定ステッカー（左）、ポスター（右）



**第5款 労働費**

■ 一般会計に占める割合



■ 予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	財源構成			
		国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成31年度	71,308	13,001	0	0	58,307
平成30年度	73,132	12,936	0	0	60,196
増△減	△1,824	65	0	0	△1,889

事業名 < 事項名 > 及び 事業概要

予算額

労働諸費

1 女性の就労に向けた支援事業の推進

《拡充》

4,750千円

< 女性のための就労支援事業費 >

子育て中や子育て後等の女性の復職・再就職等を推進するため、就労支援セミナー等を拡充して実施します。セミナー参加者と人財確保に前向きで女性の就労環境の整備に取り組む意思のある市内企業との交流会を実施し、企業に対する理解の推進とセミナー参加者への市内企業のPRを図ります。実施にあたっては、東京都の「地域人材確保・育成支援事業補助金」を活用します。

[事業概要]

- ・ 就労支援セミナー  
ビジネスマナー、キャリア・ライフプラン、就労準備 など
- ・ セミナー参加者と求人希望の市内企業の交流会

— 地域活性化 —

【財源内訳】

都支出金 4,750千円

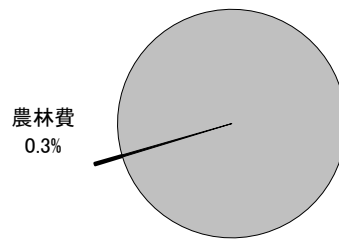
[その他の地域人材確保育成支援事業]

教育費 地域資料のデジタル化とアーカイブ化等 16,109千円 (135ページ参照)



**第6款 農林費**

■一般会計に占める割合



■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	財源構成			
		国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成31年度	199,609	46,753	0	4,468	148,388
平成30年度	170,732	28,925	0	4,350	137,457
増△減	28,877	17,828	0	118	10,931

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算額

農業費

1 「三鷹産野菜の日」の推進 《拡充》 1,614千円

＜「三鷹産野菜の日」関係費＞

全市立小中学校において東京むさし農業協同組合と協力して実施している「三鷹産野菜の日」について、平成31年度から公費負担で支援を行います。保育園（公立、公私連携型）においても拡充して実施し、地産地消と食育の推進、都市農業の振興を図ります。

〔事業概要〕

実施時期 春夏と秋冬の2回

対象施設 市立小中学校22校及び保育園（公立、公私連携型）18園

— 地域活性化 —

2 農作物獣害防止対策事業の推進 《拡充》 644千円

＜農作物獣害防止対策事業費＞

ハクビシン等による農作物被害を抑制するため、箱わなの設置に加え、新たに電気柵を導入するなど、防護や捕獲等の獣害対策に取り組みます。事業の実施にあたっては、東京都の「農作物獣害防止対策事業補助金」を活用します。

— 地域活性化 —

【財源内訳】

都支出金 322千円                      一般財源 322千円

## ■電気柵イメージ



## 3 都市農業活性化支援事業の実施

44,523千円

## ＜都市農業活性化支援事業費＞

地場産農作物の栽培品目の拡大などに取り組む認定農業者等を支援するため、施設整備事業への助成を行います。

## 〔事業概要〕

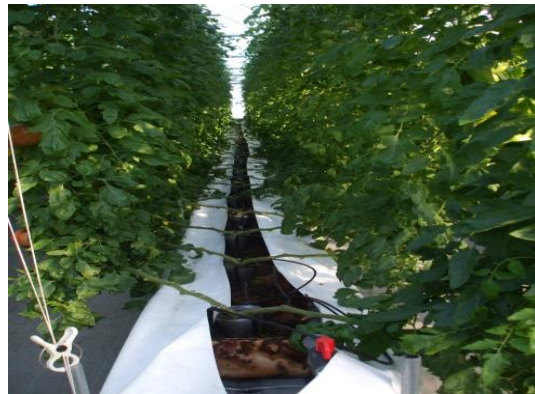
実施主体	三鷹市野菜生産組合に所属する認定農業者	4人
整備内容	パイプハウス設備	3棟 (2,090.88㎡)
	養液栽培システム	2組 (1,890㎡)
	動力噴霧機	3台
	その他、野菜用自動販売機などの整備	

－ 地域活性化 －

## 【財源内訳】

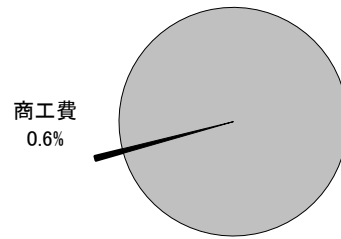
都支出金	43,523千円	一般財源	1,000千円
------	----------	------	---------

## ■パイプハウス（左）、養液栽培システム（右）



**第7款 商工費**

■一般会計に占める割合



■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	財源構成			
		国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成31年度	430,641	27,311	0	46,807	356,523
平成30年度	461,538	37,109	0	40,560	383,869
増 △減	△30,897	△9,798	0	6,247	△27,346

事業名 < 事項名 > 及び事業概要

予算額

商工費

1 「三鷹市産業振興計画2022」の第2次改定 377千円

<商工振興対策審議会関係費>

「第4次三鷹市基本計画」の第2次改定と整合を図りながら、「三鷹市産業振興計画2022（第1次改定）」の改定を行います。国や東京都の制度改正、近年の産業にかかわる国内外の動向や変化を踏まえ、各施策の方向性の検討を進めます。改定にあたっては、商工振興対策審議会で審議を行うとともに、パブリックコメント等により、幅広く市民の意見を反映しながら取り組みを進めます。

－ 地域活性化 －

2 買物環境の整備 2,383千円

<買物環境整備事業費>

大沢地域での地域連携の経験を生かし、主体的に買物支援事業に取り組む地域ケアネットワークや福祉団体等と連携しながら、消費者の利便性向上に取り組めます。また、商店会（協議会）の事業構築への協力や買物応援キャラバン隊の活用促進などによる支援を引き続き実施します。

## 〔事業概要〕

- ・ 地域の実情把握、効果的な事業の研究
- ・ 地域の受入・協力体制の構築、気運の醸成
- ・ 地域と事業者が提供するサービスを結びつけ、その利用を促進

－ コミュニティ創生 －

－ 地域活性化 －

## 3 都市型産業誘致の推進

68,164千円

## ＜都市型産業誘致促進事業費＞

「三鷹市都市型産業誘致条例」に基づき、平成30年2月に指定した企業に対して助成を開始します。また、事業者に向けて積極的な情報提供等を行い、優良企業の誘致と市内事業施設の増設などを促進します。

－ サステナブル都市 －

## 4 ものづくり産業等の集積・強化

27,500千円

## ＜商工会助成事業費、ものづくり産業集積推進事業費＞

東京都の「産業集積活性化支援事業費補助金」等を活用した3か年計画の3年目として、引き続き製造業の事業継続に向けた取り組みへの支援を行います。また、三鷹商工会に設置している「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」の活動への支援についても引き続き実施します。

## 〔事業概要〕

- ・ ものづくり産業集積促進事業 10,000千円  
市内工業地域等へ移転する事業者に対して建物の新築・増築費用の一部を助成します。
- ・ ものづくり企業地域共生推進事業 16,500千円  
周辺環境に配慮した建物改修や工場の外壁美化、耐震診断等を行う事業所に対して費用の一部を助成します。
- ・ ものづくり産業活性化ネットワーク構築支援事業 1,000千円  
ものづくり産業の活性化に向けて、市や関係団体を含めたネットワークの構築を支援するため、三鷹商工会に対して補助金を交付します。また、複数の事業者や研究機関等が連携して行う共同開発・新技術開発の費用の一部を助成します。

－ 地域活性化 －

## 【財源内訳】

都 支 出 金	15,500千円	一 般 財 源	12,000千円
---------	----------	---------	----------

## 5 3市交流連携及び地域資源魅力向上事業の推進 《新規》 5,000千円

## ＜3市交流連携及び地域資源魅力向上事業費＞

三鷹市、武蔵野市、小金井市の3市連携により、観光を軸とした交流人口の拡大を目指した広域連携の取り組みを推進します。5か年計画の2年目として、平成31年度は三鷹市が中心となり、3市の市民の間での継続的な交流や将来的な域外からの交流人口（観光客）の拡大に繋げるため、「交流・連携のための民学産公による仕組みづくり」と「地域資源の魅力向上」を図ります。

なお、事業の実施にあたっては、東京都市長会の「多摩・島しょ広域連携活動助成金」を活用します。

## 〔事業概要〕

計画期間 平成30年度～平成34年度（2022年度）

実施内容 市民交流会の開催

パイロット事業の検討・試行

－ 地域活性化 －

## 【財源内訳】

諸 収 入 5,000千円

## 6 「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」の推進 4,214千円

## ＜働き方改革応援事業費＞

これまで「三鷹市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」を推進してきました。国の「地方創生推進交付金」が平成30年度で終了したことから、「ファブスペースみたか」の運営において、民間事業者の裁量を大幅に拡充し、経営ノウハウを最大限生かしたものと見直しを行います。また、株式会社まちづくり三鷹と連携しながら、更なるPRと利用者拡大に向けた取り組みを進めます。

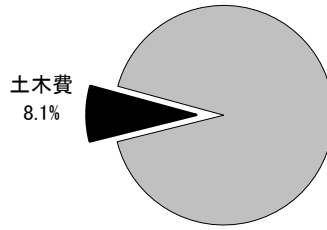
## 〔事業概要〕

- ・ファブスペースの管理運営、技術サポート
- ・運営を担う民間事業者の裁量による独自事業の実施
- ・商店街、各種イベント等との連携による販売、創業機能の充実
- ・「みたかFabコンテスト」及び作品出展等に向けたワークショップの開催
- ・制作品等の展示などファブスペースの利用促進に向けたPR活動
- ・施設南側へ出入口を設置

－ 地域活性化 －

# 第8款 土木費

## ■一般会計に占める割合



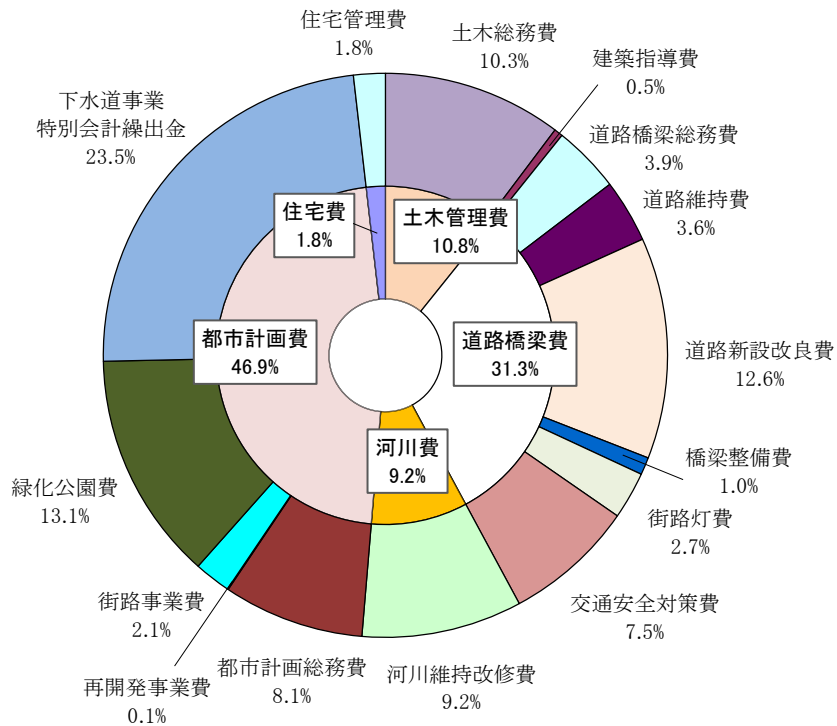
## ■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成31年度	5,611,489	495,952	624,200	463,530	4,027,807
平成30年度	5,274,579	470,768	430,000	362,914	4,010,897
増 △減	336,910	25,184	194,200	100,616	16,910

## 予算額 項別目別構成比

内円：項  
外円：目



## 道路橋梁費

## 1 三鷹駅南口ペDESTリアンデッキの改修 193,479千円

## ＜三鷹駅前デッキ改修事業費＞

平成30年度に策定した「三鷹駅南口ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画」に基づき、供用開始から20年以上が経過しているデッキの計画的な改修に取り組みます。平成31年度は、デッキ利用者や周辺の交通に支障が生じないよう配慮しながら、化粧パネルの撤去工事等を実施します。

## 〔事業概要〕

工事範囲 平成5年度に竣工した1期デッキ  
工 期 平成31年（2019年）8月～平成32年（2020年）3月

－ 都市再生 －  
－ 安全安心 －

## 【財源内訳】

国庫支出金	10,500千円	都支出金	36,250千円
市 債	133,200千円	一般財源	13,529千円

## ■ペDESTリアンデッキの整備イメージ（左：現況、右：撤去後）



## 2 三鷹台駅前周辺地区のまちづくりの推進 18,358千円

## ＜三鷹台駅前周辺地区整備事業費＞

平成30年7月に策定した「三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針」に基づき、市の東部地区の玄関口にふさわしい都市空間の創出に向けて駅前広場の整備に取り組みます。平成31年度は、平成33年度（2021年度）からの整備に向けて設計等を行います。

－ 都市再生 －  
－ 地域活性化 －

## 3 安全安心な橋梁の改修 45,238千円

## ＜橋梁改修事業費＞

平成26年度に策定した「三鷹市橋梁長寿命化修繕計画」や現況調査の結果に基づき、7橋について改修等の工事を行うとともに、平成32年度（2020年度）に改修を予定している3橋の設計業務に取り組みます。

## 〔事業概要〕

## ・改修等工事（7橋）

長久保二之橋、稲荷橋、勝淵橋、谷端三之橋、東一之橋、谷端一之橋、谷端二之橋

## ・設計業務（3橋）

八幡橋、清流橋、滝坂二之橋

— 都市再生 —

— 安全安心 —

## 【財源内訳】

国庫支出金	7,250千円	都支出金	3,625千円
繰入金	27,000千円	一般財源	7,363千円

## 4 宮下橋の架け替えに向けた仮設工事の実施 7,242千円

## ＜橋梁架替事業費＞

昭和25年しゅん工の宮下橋について、「三鷹市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき架け替えを行い、安全・安心な道路ネットワークを確保します。平成30年度の詳細設計を踏まえ、平成34年度（2022年度）の架替工事の完了に向けて、平成31年度は支障となる企業管を移設するための仮設足場・仮設桁の設置工事を実施します。

## 〔スケジュール〕

平成31年度	仮設足場・仮設桁の設置、企業管移設
平成32年度（2020年度）	架替工事、企業管移設
平成33年度（2021年度）	架替工事、企業管添架工事
平成34年度（2022年度）	仮設足場・仮設桁の撤去、企業管添架工事

— 都市再生 —

— 安全安心 —

## 【財源内訳】

都支出金	500千円	一般財源	6,742千円
------	-------	------	---------



## ■宮下橋（現況）



## 5 「駐輪場整備運営基本方針」の推進

230,063千円

## ＜自転車等駐車場管理運営費＞

平成29年度に策定した「駐輪場整備運営基本方針」に基づき、三鷹駅南口駐輪場を開設し、三鷹駅周辺の収容台数を確保するとともに、交通環境の向上を図ります。また、「三鷹市自転車の安全で適正な利用に関する条例」に基づき、利用料金の改定を行うなど、持続可能で利便性の高い駐輪場の運営を進めます。

## 〔三鷹駅南口駐輪場の概要〕

住 所	下連雀三丁目36番1号 再開発事業共同ビル地下1階
開設時期	平成31年4月1日（月）
収容台数	236台
利用料金	一時利用 上段ラック：2時間無料、以降8時間毎100円 下段ラック：2時間無料、以降4時間毎100円
管理方法	株式会社まちづくり三鷹による指定管理

## 〔利用料金改定の概要〕

- ・定期利用 さくら通り第2駐輪場（2,000円/月）を基本とし、最寄駅、駅からの距離、屋根の有無、階層、駐輪ラック階層などを踏まえた料金体系とします。
- ・一時利用 長時間駐輪解消のため、時間利用の全ての駐輪場に2時間の無料時間を設け、無料時間経過後の4時間もしくは8時間毎に料金加算します。

— 都市交通安全 —

## 【財源内訳】

繰 入 金	50,000千円	諸 収 入	27,506千円
一 般 財 源	152,557千円		

## 6 サイクルシェア事業の本格実施

サイクルシェア事業について、平成27年度のミニ実験、平成28～30年度の社会実験を踏まえ、平成31年4月から本格実施し、三鷹駅周辺駐輪場の利用可能台数を確保することで、駐輪場運営の効率化を図ります。なお、管理運営にあたっては、指定管理者による利用料金制度を導入します。

〔事業概要〕

駐輪場名	三鷹駅南口サイクルシェア駐輪場（三鷹駅南口駐輪場隣接）
開設時期	平成31年4月中旬
利用人数	180人（自宅から利用90人、駅から利用90人）、自転車台数120台
利用料金	一般 2,500円、学生等 1,800円
管理方法	株式会社まちづくり三鷹による指定管理

－ 都市交通安全 －

## 7 三鷹駅南口駅前広場等の交通環境改善に向けた取り組み

2,975千円

＜三鷹駅南口駅前広場交通対策関係費＞

平成30年度に実施した三鷹駅南口駅前広場交通対策検討専門部会での検討や交通状況調査を踏まえ、バス及びタクシー乗降場の再配置やバリアフリー化、交通規制の見直し、案内表示の充実などに向けた調整を進めます。関係機関との協議や地域公共交通活性化協議会での意見を反映し、平成32年度（2020年度）の改修工事に向けて整備内容を取りまとめます。

－ 都市交通安全 －

## 河川費

## 1 中原地区における都市型水害対策等の推進

844,199千円

## (1) 中仙川改修事業

429,758千円

＜中仙川改修事業費、中仙川遊歩道整備事業費（道路橋梁費）＞

集中豪雨による都市型水害に対応するため、平成27年度に着手した中仙川改修の最終年次の工事に取り組みます。また、改修後に市民意見を反映しながら、上部空間を遊歩道として整備します。

〔事業概要〕

- ・ 中仙川改修工事 382,752千円（総事業費 849,589千円）  
（工期 平成27年7月～平成31年（2019年）10月）
- ・ 中仙川遊歩道整備 47,006千円  
（工期 平成31年（2019年）10月～平成32年（2020年）3月）

－ 都市再生 －

－ 安全安心 －

## 【財源内訳】

都 支 出 金	102,000千円	市 債	282,000千円
一 般 財 源	45,758千円		

## (2) 雨水貯留施設等の整備 414,441千円

## ＜中仙川改修事業費、市道第793号線整備事業費（道路橋梁費）、児童遊園整備事業費（都市計画費）＞

中原一丁目地区は水害被害が多く発生し、オープンスペースも不足していることから、水害対策として雨水貯留施設を設置するほか、上部空間を防災機能を有した公園として、また、その周辺を緊急時の避難路と緊急車両の通行可能な道路として整備します。平成31年度は、雨水貯留施設の整備工事に着手するとともに、公園及び道路の用地取得、公園整備に向けたワークショップを実施します。

## 〔経費内訳〕

・ 雨水貯留施設整備	120,670千円
・ 市道第793号線用地取得	50,125千円
・ 中原一丁目公園（仮称）用地取得	243,646千円

## 〔スケジュール〕

平成31年度	雨水貯留施設整備着手、公園・道路用地取得、公園整備に向けたワークショップの開催
平成32年度（2020年度）	公園・道路の設計
平成33年度（2021年度）	雨水貯留施設整備完了、公園・道路整備

## 〔債務負担行為の設定〕

雨水貯留施設整備事業	120,670千円
（平成32～33年度（2020～2021年度）〈債務負担分〉	143,330千円
全体事業費	264,000千円）

— 都市再生 —

— 安全安心 —

## 【財源内訳】

国 庫 支 出 金	70,000千円	都 支 出 金	24,845千円
諸 収 入	27,760千円	市 債	209,000千円
一 般 財 源	82,836千円		

## 平成31年度に取り組む主な道路等の整備



## 【道路橋梁費】

- ①三鷹駅南口ペDESTリアンデッキ  
三鷹駅南口ペDESTリアンデッキの改修
- ②三鷹駅南口駐輪場  
「駐輪場整備運営基本方針」の推進
- ③三鷹駅南口サイクルシェア駐輪場  
サイクルシェア事業の本格実施

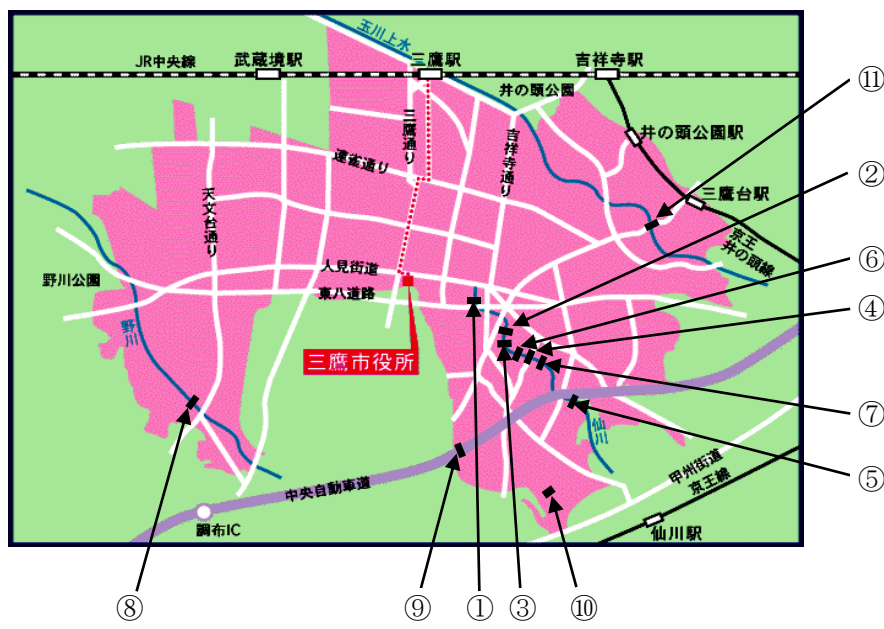
## 【河川費】

- ④中仙川  
中原地区における都市型水害対策等の推進
- ⑤中原一丁目雨水貯留施設  
中原地区における都市型水害対策等の推進

## 【都市計画費】

- ⑥都市計画道路3・4・13号  
都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進
- ⑦都市計画道路3・4・7号  
都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備の促進

平成31年度に取り組む主な橋梁の整備



【道路橋梁費】

- |         |                     |
|---------|---------------------|
| ①長久保二之橋 | ⑦谷端二之橋              |
| ②稻荷橋    | ⑧八幡橋                |
| ③勝潤橋    | ⑨清流橋                |
| ④谷端三之橋  | ⑩滝坂二之橋              |
| ⑤東一之橋   | 安全安心な橋梁の改修（①～⑩）     |
| ⑥谷端一之橋  |                     |
| ⑪宮下橋    | 宮下橋の架け替えに向けた仮設工事の実施 |

## 都市計画費

## 1 用途地域等の見直し 8,112千円

## ＜都市計画事業運営費＞

平成30年7月に策定した「三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針」に基づき、平成31年2月に「三鷹台駅前周辺地区地区計画」を決定し、平成32年度（2020年度）以降の用途地域等変更に向けて、地域の合意形成に取り組みます。

また、農業委員会や東京むさし農業協同組合と連携し、土地所有者の理解を得ながら、都市計画決定から30年を迎える生産緑地地区を特定生産緑地として指定し、都市農地を保全していきます。

－ 地域活性化 －

## 2 止水板設置支援による都市型水害対策の推進 《拡充》 2,800千円

## ＜都市型水害対策事業費＞

集中豪雨などの際に発生する家屋の浸水被害の防止や軽減を目的として、止水板を設置する市民に対し、設置費用の一部を助成します。

## 〔事業概要〕

対象工事 止水板設置工事、止水板設置に伴い止水性を高めるために行う関連工事（例：内外壁の防水工事、コンクリート打設工事等）

助成額 対象工事費の1/2（上限額 500千円）

－ 安全安心 －

## 3 東京外かく環状道路整備に伴うまちづくりの推進 4,814千円

## ＜東京外かく環状道路計画調査研究関係費、安全・安心のまちづくり連絡協議会関係費＞

平成30年8月に決定したゾーニングを踏まえ、施設計画や景観づくり、事業主体、スケジュール等を取りまとめ、市民の意見を聴きながら「北野の里（仮称）まちづくり整備計画」を策定します。

また、安全・安心のまちづくり連絡協議会による安全対策や防犯対策の検討を行うとともに、国等の事業者に対して市の要望が確実に実行されるよう引き続き要請します。

## 〔経費内訳〕

- ・北野の里（仮称）まちづくり整備計画策定 3,000千円
- ・安全・安心のまちづくり連絡協議会の運営 198千円
- ・その他 1,616千円

－ 都市再生 －

－ 地域活性化 －

## 4 外国人観光を促進するための案内・誘導サインの多言語化 38,816千円

## ＜案内・誘導サイン多言語化事業費＞

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を見据え、三鷹市を訪れる外国人が観光しやすく、三鷹市在住の外国人も暮らしやすい魅力的なまちづくりを推進するため、案内・誘導サインの多言語化を図ります。

平成28年度から（公財）東京観光財団の「区市町村観光インフラ整備支援補助金」を活用し実施してきた最終年次の取り組みとして、平成31年度は公共施設案内標識及び道路愛称名標識の多言語化を行います。

## 〔事業概要〕

- ・公共施設案内標識 22箇所（日英中韓）
- ・道路愛称名標識 42箇所（日英中韓15箇所、日英27箇所）

— 地域活性化 —

## 【財源内訳】

諸 収 入	17,642千円	一 般 財 源	21,174千円
-------	----------	---------	----------

## ■公共施設案内標識（日英中韓）



## ■道路愛称名標識（日英）



## 5 「三鷹市土地利用総合計画2022（第1次改定）」等の改定 2,706千円

## ＜土地利用総合計画等改定関係費＞

「第4次三鷹市基本計画」の第2次改定と整合性を図りながら、「三鷹市土地利用総合計画2022（第1次改定）」と「三鷹市景観づくり計画2022」の改定を行います。法改正や各事業等の進捗に合わせた修正を基本とし、パブリックコメントによる市民等の意見のほか、都市計画審議会や景観審議会等での議論を反映しながら改定に取り組みます。

〔改定を行う計画と主な内容〕

- ・「三鷹市土地利用総合計画2022（第1次改定）」  
三鷹台駅前周辺地区、日本無線株式会社三鷹製作所跡地、北野の里（仮称）などの土地利用転換を踏まえた見直しなど
- ・「三鷹市景観づくり計画2022」  
北野の里（仮称）を含めた東部地区の景観づくりの方針、都市農地保全の方向性など

－ 地域活性化 －

## 6 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の推進 2,367千円

### ＜三鷹駅南口中央通り東地区市街地再開発事業費＞

「三鷹駅前地区再開発基本計画2022」に基づき、三鷹駅南口中央通り東地区（三鷹センター周辺・文化劇場跡地）について、三鷹駅前の活性化や市民等の快適性・利便性の向上が図られるよう、関係権利者やUR都市機構と連携しながら、市街地再開発事業に向けた検討を進めます。

また、高度利用地区と市街地再開発事業に加えて、回遊性やにぎわいの創出に向けた展開が図られるよう、地区計画等の面的なまちづくりについて検討を行い、地域住民の理解を得ながら都市計画決定に向けた取り組みを進めます。

－ 都市再生 －

－ 地域活性化 －

## 7 都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進 22,388千円

### ＜都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備事業費＞

三鷹都市計画道路3・4・13号の人見街道から連雀通りまでの区間（約466m）を整備するため、平成30年度に実施した道路詳細設計を踏まえ、電線共同溝の詳細設計等を実施します。

－ 都市交通安全 －

## 8 都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備の促進 80,125千円

### ＜都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備事業費＞

連雀通りの八幡前交差点から下連雀七丁目交差点付近までの区間（約235m）について、用地取得を完了しました。平成31年度は、引き続き東京都の「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用し、道路整備に伴う先行工事として、平成32年度（2020年度）にかけてボックスカルバートの撤去工事等を行います。



〔債務負担行為の設定〕

都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備事業 74,283千円  
 （平成32年度（2020年度）〈債務負担分〉101,528千円  
 全体事業費175,811千円）

－ 都市交通安全 －

【財源内訳】

都 支 出 金 74,375千円 一 般 財 源 5,750千円

## 9 生け垣助成制度の要件緩和

《拡充》

5,910千円

〈緑化助成事業費〉

平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震におけるブロック塀等の倒壊を踏まえ、ブロック塀等の撤去のみに対する助成を新設するとともに、生け垣助成制度の要件を緩和し、災害に強いまちづくりと緑化を推進します。なお、実施にあたっては、東京都の「ブロック塀等安全対策促進事業補助金」を活用します。

〔事業概要〕

項目	現在	改定後
ブロック塀等の撤去のみの助成	助成対象外	平成35年度（2023年度）までの時限付きで、高さ1.2m以上のブロック塀等の撤去費用を助成
助成対象	道路に面した生け垣整備及びブロック塀等の撤去	現在の助成に加え、ブロック塀背後1m以内の既存樹木等を生け垣助成の範囲として扱い、ブロック塀等の撤去費用を助成
生け垣等の植物	樹木が対象でつる性の植物は対象外	低木及びつる性の植物も助成対象
延長	30mが上限	生け垣造成等を伴うブロック塀等の撤去については、現在の基準の1.5倍（45m）を上限

－ 安全安心 －

【財源内訳】

都 支 出 金 662千円 一 般 財 源 5,248千円

## 10 ひまわり児童遊園の移設

27,075千円

〈児童遊園整備事業費〉

社会教育会館跡地等について、ワークショップでの市民意見等を反映し、ひまわり児童遊園を整備します。

－ サステナブル都市 －

【財源内訳】

繰 入 金 18,000千円 一 般 財 源 9,075千円

- 11 「公園・緑地の適切な活用に向けた指針」に基づく公園整備 46,700千円  
 ＜都市公園整備事業費＞

平成30年5月に策定した「公園・緑地の適切な活用に向けた指針」に基づき、市民等と協働しながら、誰もが安全で安心して親しむことのできる魅力ある公園づくりを推進します。地域で公園が担う機能や市民ニーズへの対応として、平成31年度は、西部地域の深大寺公園に防球ネットフェンス等を設置し、ボール遊びができる公園として整備します。

－ サステナブル都市 －

【財源内訳】

都 支 出 金	32,000千円	一 般 財 源	14,700千円
---------	----------	---------	----------

■深大寺公園



- 12 「三鷹市緑と水の基本計画2022」の第2次改定 1,484千円  
 ＜緑と水の基本計画改定関係費＞

「第4次三鷹市基本計画」の第2次改定と整合性を図りながら、「三鷹市緑と水の基本計画2022」の第2次改定を行います。北野の里（仮称）を4つ目の里として位置づけるとともに、「公園・緑地の適切な活用に向けた指針」を反映した取り組みを追加するなど、法改正や各事業の進捗等に合わせた修正を行います。

－ サステナブル都市 －

平成31年度に取り組む主な公園の整備



【都市計画費】

- |              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| ①ひまわり児童遊園    | ひまわり児童遊園の移設                 |
| ②中原一丁目公園（仮称） | 中原地区における都市型水害対策等の推進         |
| ③深大寺公園       | 「公園・緑地の適切な活用に向けた指針」に基づく公園整備 |

## 住宅費

## 1 木造住宅耐震助成制度の要件緩和 《拡充》 7,548千円

## ＜木造住宅耐震助成事業費＞

平成28年4月14日、16日に発生した熊本地震における新耐震基準の木造建築物の倒壊を踏まえ、助成制度の要件を緩和し、災害に強いまちづくりを推進します。

## 〔事業概要〕

項目	現在	改定後
建築基準	昭和56年5月31日までに建築（着工）された木造戸建住宅（旧耐震基準のみ）	平成12年5月31日までに建築（着工）された木造戸建住宅（平成12年改定前新耐震基準を含む）
居住要件	現在居住していること	耐震性能の不安を取り除いてから居住できるよう、居住要件を削除

－ 安全安心 －

## 【財源内訳】

国庫支出金 3,580千円 一般財源 3,968千円

## 2 空き家等の管理不適切な建築物に関する適正管理の推進 《拡充》 6,601千円

## ＜民間建築物等管理適正化関係費＞

平成30年度に策定する「三鷹市空き家等対策計画」に基づき、専門家団体等と連携しながら相談体制の拡充を図り、空き家等の適正管理を推進するとともに、意識啓発に取り組みます。

## 〔主な事業概要〕

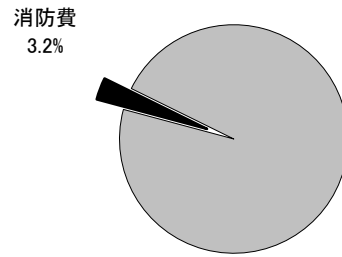
- ・平成30年度に法律や税、不動産などの専門家団体及び金融機関の12団体と締結した「三鷹市における空き家等の適正管理、有効活用等の推進に関する協定」に基づき、各団体ごとに相談窓口を開設
- ・空き家セミナー・個別相談会の開催
- ・市民に向けた空き家等の適正管理や利活用に関する啓発事業の実施
- ・空き家となった原因や維持管理での課題、今後の活用予定などについて、空き家等所有者に対するアンケート調査を実施 など

## 【財源内訳】

都支出金 1,867千円 一般財源 4,734千円

**第9款 消防費**

■ 一般会計に占める割合



■ 予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	財源構成			
		国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成31年度	2,214,383	254,079	0	8,150	1,952,154
平成30年度	2,184,218	283,199	0	2,837	1,898,182
増△減	30,165	△29,120	0	5,313	53,972

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算額

消防費

1 消防団活動の充実強化 9,007千円

(1) 東京都消防操法大会への出場 《新規》 3,030千円

＜東京都消防操法大会関係費＞

北多摩地区消防団17団の代表として、三鷹市消防団第六分団が第49回東京都消防操法大会に出場し、消防活動等の技術の向上を図ります（平成31年（2019年）10月12日（土）開催予定）。

－ 安全安心 －

(2) 北多摩地区消防大会の開催 《新規》 5,977千円

＜北多摩地区消防大会開催事業費＞

三鷹市が会場市となり、北多摩地区消防団17団が参加・出場する第61回北多摩地区消防大会を開催します。

[大会概要]

第61回北多摩地区消防大会

開催日 平成31（2019年）年9月29日（日）

会場 武蔵野中央公園（パレードは三鷹市内）

主な内容 パレード・入場行進、音楽隊演奏、基本操法演技※、放水演技、定例表彰

※三鷹市を含む5市の東京都消防操法大会出場消防団が実施

－ 安全安心 －

## 2 消防ポンプ自動車の更新 19,985千円

## ＜消防施設整備費＞

地域の消防力の強化を図るため、購入後15年を経過する消防団第二分団の消防ポンプ自動車を計画的に更新します。

－ 安全安心 －

## 3 三鷹消防署牟礼出張所建替えに伴う仮庁舎の整備 《新規》 4,378千円

## ＜三鷹消防署牟礼出張所仮庁舎関係費＞

三鷹消防署牟礼出張所はしゅん工から約48年が経過し老朽化が進んでいることから、東京都が建替えを予定しています。新庁舎整備期間の代替施設として、東京都が仮庁舎を整備するため、三鷹市が用地を賃貸借により確保して提供します。

〔仮庁舎整備用地〕

所在地 牟礼一丁目1582番1ほか

敷地面積 1,341㎡

借用期間 平成31年4月～平成35年（2023年）3月

〔スケジュール〕

平成31年度 仮庁舎整備工事

平成32年度（2020年度） 現庁舎解体工事

平成32年度（2020年度） 新庁舎整備工事

～平成34年度（2022年度）

平成34年度（2022年度） 仮庁舎解体工事

－ 安全安心 －

## 4 防災関係機関連携訓練の実施 1,390千円

## ＜防災訓練費＞

災害発生時における情報連絡体制の確認や連携活動の強化を図るため、災害時応援協定を締結している関係機関等の参加協力を得て、防災関係機関連携訓練を実施します。訓練では、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの災害時における機能転換を想定し、災害対策本部と関係機関の連携活動の強化を図るとともに、災害時機能転換マニュアルの検証を行います（平成32年（2020年）2月9日（日）実施予定）。

－ 安全安心 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算額
----------------	-----

5 防災通信体制の強化 5,506千円

＜防災通信体制整備事業費＞

防災行政無線難聴地域の放送内容の伝達を補完するため、平成17年度に三鷹駅南口中央通りに整備した放送システムを一部改修し、防災通信体制の強化を図ります。

－ 安全安心 －

6 災害時在宅生活支援施設の拡充 《拡充》 923千円

＜災害時在宅生活支援施設整備事業費＞

災害時に在宅で被災生活を行う市民を支援するため、生活支援施設として「かみさん広場」（上連雀三丁目）に炊き出し用設備や組立トイレ、スタンドパイプ等を配備します。

－ 安全安心 －





## 教育総務費

## 1 学校給食用食材の放射性物質検査の実施 263千円

## ＜学校給食関係費＞

児童・生徒や保護者のより一層の安心のため、市立小中学校における給食用食材の放射性物質検査を行います。

〔事業概要〕

放射性物質検査 各校年1回

－ 安全安心 －

## 2 学校給食の充実と効率的な運営の推進及び市内産野菜の活用 《拡充》 490,470千円

## ＜給食調理業務委託化等関係費、学校給食関係費（小学校費・中学校費）＞

安全でおいしい学校給食と効率的な運営を推進するため、新たに第四中学校で自校方式による学校給食調理業務の民間委託を実施します。

また、平成32年度（2020年度）から新たに委託を開始する予定の第三小学校と、委託開始から5年目の更新時期を迎える第一小学校、中原小学校について、平成31年度中に事業者の選定を行うことから債務負担行為を設定します。

市内産野菜の更なる活用に向けては、東京むさし農業協同組合三鷹支店と市、教育委員会が連携しながら取り組みを進めます。「三鷹産野菜の日」について、都市農業振興の観点から農林費に予算を計上し、公費負担として実施するなど、更なる拡充に取り組んでいきます。

〔事業概要〕

平成31年度新規委託校 第四中学校

給食調理業務委託料 23,081千円

初度準備備品購入費等 500千円

平成32年度（2020年度）新規委託校 第三小学校

給食調理業務委託料 31,000千円

（平成32年度（2020年度）＜債務負担分＞）

平成31年度事業者更新校 第一小学校、中原小学校

給食調理業務委託料 62,000千円

（平成32年度（2020年度）＜債務負担分＞）

委託事業者選定関係費 204千円

＜参考＞ 委託継続校（小学校12校、中学校5校）

第一小学校、第二小学校、第四小学校、第六小学校、第七小学校、  
大沢台小学校、南浦小学校、中原小学校、北野小学校、井口小学校、  
東台小学校、羽沢小学校、第一中学校、第二中学校、第五中学校、  
第六中学校、第七中学校

給食調理業務委託料 466,685千円

－ 子ども・子育て支援 －

### 3 ライフ・ワーク・バランスと教育の質の向上を目指す働き方改革の推進

《拡充》 57,578千円

＜部活動指導関係費、学校マネジメント強化モデル事業費、スクール・サポート  
・スタッフ配置事業費、教職員健康診断関係費（小学校費・中学校費）＞

「三鷹市立学校における働き方改革プラン」に基づき、地域・保護者等の理解を得ながら、教職員が担うべき業務に専念できる環境を確保します。教職員の意識改革、部活動の適正化等に取り組むことにより、ライフ・ワーク・バランスを推進し、学校教育の更なる質の向上を図ります。

また、学校の業務支援を行うスタッフを拡充するとともに、校務支援システムにより在校時間を把握し、教職員の意識改革を進めます。事業の実施にあたっては、東京都の各種補助金を活用します。

〔主な事業内容〕

- ・学校マネジメント強化モデル事業の実施 5,030千円  
副校長の業務を支援する「副校長補佐」を配置し、調査・報告、服従管理、施設管理などを行う学校マネジメント強化モデル事業を、引き続き第五中学校、第六小学校、第七中学校で実施します。
- ・スクール・サポート・スタッフ配置事業の拡充 32,866千円  
教員からの指示を受け、学習プリント等の印刷・配布準備、授業準備の補助などを行う「スクール・サポート・スタッフ」を小・中学校全校に配置し、教員の業務支援を行います。
- ・夏季休業中の学校閉庁日や退校目標時間の設定
- ・校務支援システムによる教職員の在校時間の把握
- ・部活動指導員の拡充 18,196千円  
全中学校に1人配置している、学校外活動の引率も含めて部活動の指導を行う部活動指導員を1人ずつ増員し、教員の部活動への負担軽減を図ります。
- ・教職員のストレスチェックの実施 1,486千円  
教職員のメンタルヘルス対策として、ストレスチェック（57項目）を実施します。

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

都支出金	44,145千円	一般財源	13,433千円
------	----------	------	----------

## 4 コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展 13,171千円

## ＜コミュニティ・スクール関係費＞

## 《拡充》

国の法制度の改正を生かし、平成30年度から三鷹市の全小中学校を「小中一貫型小学校・中学校」とするとともに、コミュニティ・スクール委員会を学園単位の学校運営協議会として一本化したことに伴い、より一体感のある学園運営や教育活動の更なる充実・発展を図ります。事業の実施にあたっては、東京都の各種補助金を活用します。

## 〔主な拡充内容〕

- ・コミュニティ・スクール推進員（地域学校協働活動推進員）の拡充（5学園）  
学校支援ボランティアと学校との連携・調整の中心的な役割を担うコミュニティ・スクール推進員を新たに2学園に配置し、事務局機能の強化と学校支援活動等の更なる充実を図ります。
- ・学園開園10周年記念事業の実施  
三鷹中央学園・三鷹の森学園・鷹南学園が開園10周年を迎えることから、3学園合同での記念講演会等を実施するほか、各学園で記念誌を作成し、10年のあゆみと成果を振り返るとともに、学園の未来に向けて発信する機会とします。
- ・学園企画提案事業の実施  
各学園の主体的で特色ある取り組みをより一層推進するため、4学園の企画提案に基づき、学園での活動を紹介するDVDや学園・地域行事カレンダーを作成します。

－ コミュニティ創生 －

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

都支出金	4,027千円	繰入金	509千円
一般財源	8,635千円		

## 5 教育支援の充実 《拡充》 60,868千円

## ＜総合教育相談室事業費＞

小学校における校内通級教室の全市展開により、通級、就学・転学相談や指導開始等の判断のための発達検査の件数が増加していることから、就学相談員及び教育相談員を拡充し、児童・生徒や保護者へのよりの確な支援を行い、関係機関と連携したスクールソーシャルワークを一層推進していきます。

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

都支出金	16,220千円	一般財源	44,648千円
------	----------	------	----------

## 6 みたか地域未来塾事業の全市展開 《拡充》 4,304千円

## ＜みたか地域未来塾事業費＞

大学生や地域住民の協力による学習支援など、学校・家庭・地域が協働で教育支援に取り組む仕組みづくりを進めながら、小・中学生の学習習慣の定着と基礎学力の向上を図ります。東京都の補助金を活用しながら、全小・中学校に拡充して実施します。

## 〔実施校〕

平成30年度実施校 15校

三鷹中央学園（第三小学校、第七小学校、第四中学校）

鷹南学園（中原小学校、東台小学校、第五中学校）

おおさわ学園（大沢台小学校、羽沢小学校、第七中学校）

にしみたか学園（第二小学校、井口小学校、第二中学校）

東三鷹学園（第一小学校、北野小学校、第六中学校）

平成31年度実施校 22校

上記15校に2学園7校を加え、全小・中学校に拡充して実施

連雀学園（第四小学校、第六小学校、南浦小学校、第一中学校）

三鷹の森学園（第五小学校、高山小学校、第三中学校）

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

都支出金	2,869千円	一般財源	1,435千円
------	---------	------	---------

## 7 オリンピック・パラリンピック教育推進校事業の実施 4,600千円

## ＜オリンピック・パラリンピック教育推進校事業費＞

市長部局と連携をとりながら、全市立小・中学校において、オリンピックやパラリンピアンを招聘した講演や実技指導等を行うなど「4つのテーマ（オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境）」と「4つのアクション（学ぶ、観る、体験・交流する、支える）」を組み合わせた多様な教育プログラムを実施します。事業の実施にあたっては、東京都の「オリンピック・パラリンピック教育推進校事業委託金」を活用します。

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

都 支 出 金 4,600千円

## 8 プログラミング教育推進校事業の実施 350千円

## ＜プログラミング教育推進校事業費＞

新学習指導要領に基づくプログラミング的思考を育むことを目的とし、論理的な思考を身に付ける授業や体験的なプログラミング授業等の実践研究を行います。第一小学校において、2年計画の最終年次の取り組みとして、東京都の「プログラミング教育推進校事業委託金」を活用し実施します。

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

都 支 出 金 350千円

## 9 適応支援教室（仮称）の設置 《新規》 2,975千円

## ＜適応支援教室（仮称）設置関係費＞

長期欠席傾向や不登校傾向の児童・生徒の個に応じた支援を適切に行うため、学習指導や児童・生徒、保護者への相談等の機能を担う「適応支援教室（仮称）」を設置します。平成32年（2020年）4月の開設に向けて、「三鷹市適応支援教室実施方針（仮称）」を策定するとともに、拠点となる第一中学校と教育センターの改修など準備を進めます。

－ 子ども・子育て支援 －

## 10 ICTを活用した教育内容の充実と学校図書館システムの更新 37,842千円

## ＜教育ネットワーク管理運営費＞

## 《拡充》

第一小学校に加え、新たに井口小学校をICT活用推進モデル校として、教室に短焦点プロジェクタ22台を整備するとともに、児童用タブレット端末を40台増配備するなど、ICTを活用した更なる教育環境の充実を図ります。

また、平成31年4月から運用を開始する更新後の校務支援システムを活用し、出退勤と連動したシステムによるタイムマネジメントの推進と校務事務の効率化を図ります。

さらに、学校図書館システムについて、平成32年（2020年）4月の稼働に向けて、機能の充実とコストの削減を図りながら更新を行います。

〔債務負担行為の設定〕

- ・教育ICT機器等使用料（平成31年度導入分） 5,100千円  
（平成32年度（2020年度）～平成35年度（2023年度）＜債務負担分＞29,949千円  
全体事業費35,049千円）
- ・学校図書館システムサービス等利用料  
（平成32年度（2020年度）～平成36年度（2024年度）＜債務負担分＞47,228千円）

小学校費・中学校費

## 1 小学校における「公共施設木製備品導入プロジェクト」の推進 11,458千円

## ＜学校管理運営費＞

平成31年度に新設される森林環境譲与税を活用し、「公共施設木製備品導入プロジェクト」として、普通教室への木製ロッカーの導入を推進します。平成31年度は第二小学校の普通教室10教室に木製ロッカーを導入します。

〔関連する歳入〕

- ・森林環境譲与税 7,356千円  
間伐や人材育成・担い手の確保、木材の利用促進や普及啓発など、森林整備及びその促進に関する費用に充てることを目的としています。

－ 子ども・子育て支援 －

## 2 「校内通級教室」における指導の充実 《拡充》 17,979千円

## ＜校内通級教室設置関係費（小学校費・中学校費）＞

小学校の「校内通級教室」への通級児童数が増加していることから、新たに第五小学校を拠点校として整備し、児童の特性に応じて、きめ細かな自立活動を中心とした指導を行います。

また、「三鷹市校内通級教室実施方策」を改定し、市内の全中学校における「校内通級教室」の平成32年（2020年）4月からの指導開始に向けて、環境整備などの準備を進めます。

〔中学校での校内通級教室〕

拠点校：第二中学校、第六中学校

巡回校：第一中学校、第三中学校、第四中学校、第五中学校、第七中学校

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

都 支 出 金	7,000千円	一 般 財 源	10,979千円
---------	---------	---------	----------

## 3 学校施設長寿命化計画（仮称）の策定と長寿命化改修工事の実施 489,494千円

## ＜長寿命化改修事業費（小学校費・中学校費）＞

学校施設の長寿命化及び防災機能強化を図るため、平成30年度に引き続き、第二小学校と第一中学校において長寿命化改修工事（Ⅱ期）を行います。また、平成30年度に実施した調査結果を踏まえ、「学校施設長寿命化計画（仮称）」を策定し、安全で快適な教育環境の確保を図ります。

〔整備概要〕

第二小学校（Ⅱ期）屋上防水、外壁改修、床改修、防災設備改修、  
出入口スロープ設置（校舎1箇所） 等

第一中学校（Ⅱ期）屋上防水、外壁改修、床改修、窓改修、  
防災設備改修、出入口スロープ設置（校舎1箇所） 等

〔計画の概要〕

築年数や老朽度合に応じて複数のグループに分類し、整備の基本的な方針や改修内容の規模を定めるとともに、トータルコストの縮減と財政負担の平準化を図りながら、建替えを見据えた効果的・効率的な改修を進めるため、グループごとの整備メニューなどを設定します。

－ 都市再生 －

－ 安全安心 －

## 【財源内訳】

国 庫 支 出 金	98,386千円	都 支 出 金	65,225千円
市 債	267,000千円	一 般 財 源	58,883千円

## 4 快適な学校環境の整備

160,063千円

## ＜学校空調設備整備事業費（小学校費・中学校費）＞

老朽化した空調設備を計画的に更新するため、平成30年度の実施設計に基づき第三中学校の改修工事（I期）を実施するとともに、高山小学校について、平成32年度（2020年度）の改修に向けた設計を行います。

また、夏季の熱中症対策や避難所としての機能強化等を図るため、学校体育館の空調設備について、東京都の補助制度を活用し、第三小学校体育館にリース方式によるスポット型空調設備機器を設置します。

－ 都市再生 －

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

国庫支出金	15,871千円	繰入金	23,000千円
市債	89,500千円	一般財源	31,692千円

## － トイレ改修工事の平成30年度3月補正予算対応 －

トイレ改修工事について、平成31年度当初予算で対応することとしていましたが、平成30年度の国の補正予算（第2号）により、学校施設環境改善交付金の増額が図られる見込みとなりました。国庫補助金をより確実に確保するため、平成30年度3月補正予算において当該予算の計上を予定しています。

## 〔整備内容〕

- ・トイレ改修工事の実施 270,503千円
  - 中原小学校、井口小学校、第七中学校、第四小学校、第六小学校について、トイレの洋式化、床のドライ化、バリアフリー化を実施します。
  - 中原小学校：（校舎I期）男子3箇所、女子3箇所
  - 井口小学校：（校舎）男子5箇所、女子5箇所、多目的トイレ1箇所（新設）  
（体育館）男子1箇所、女子1箇所、多目的トイレ1箇所（新設）
  - 第七中学校：（校舎）男子6箇所、女子6箇所、多目的トイレ1箇所
  - 第四小学校：（体育館）男子1箇所、女子1箇所、多目的トイレ1箇所（新設）
  - 第六小学校：（体育館）男子1箇所、女子1箇所、多目的トイレ1箇所（新設）

## 事業費と財源内訳（見込）

（単位：千円）

事業内容	事業費	財源内訳			
		国庫支出金	都支出金	市債	一般財源
トイレ改修	270,503	49,227	28,713	176,000	16,563



## 生涯学習費

## 1 地域資料のアーカイブ化等の推進 18,677千円

## ＜歴史・民俗等文化財関係費＞

古文書資料のデジタル化を行い、資料ごとの属性情報等を整理し、画像データやテキストデータを一元管理する文化財アーカイブシステムを構築し、データの一部を公開します。デジタル化と属性情報等の整理にあたっては、「東京都地域人材確保・育成支援事業補助金」を活用します。

また、平成32年度（2020年度）までの2か年計画で、市域にある玉川上水からの分水の痕跡を調査し、学習会を通して意見を聴きながら、まちの歴史に関する市民の理解を深める資料として活用するとともに、三鷹型エコミュージアムを推進するため、地域誌の作成に取り組みます。

－ 地域活性化 －

## 【財源内訳】

都支出金	16,109千円	一般財源	2,568千円
------	----------	------	---------

## 2 大沢の里古民家の運営の充実 28,549千円

## ＜大沢の里水車経営農家関係費、大沢の里古民家管理運営費＞

平成30年11月に開館した大沢の里古民家について、ボランティアなどの市民参加を図りながら、里山の「歴史、自然、文化、暮らし」を体験学習できる文化財としての特徴を活かした事業を実施します。また、大沢の里水車経営農家とあわせて大沢の里郷土文化施設として一体的な運営を行います。

－ 地域活性化 －

## 【財源内訳】

使用料手数料	548千円	一般財源	28,001千円
--------	-------	------	----------

## ■大沢の里古民家



## 3 生涯学習課分室の移転に伴う出土品等の適切な保存と公開活用 63,598千円

## ＜生涯学習課分室移転事業費＞

新川三丁目の生涯学習課分室を教育センター等へ移転します。移転に際しては、出土品の整理等を行い、執務室や展示・収蔵スペースを確保するとともに、来館者用モニターを設置し遺跡や文化財に関する情報を発信するなど、市民が文化財への関心を高める機会の拡充を図ります。

また、移転後に生涯学習課分室（現分室）の解体工事等を行います。

## 4 地域子どもクラブ等を拠点とした子どもの居場所づくりの推進

## ＜地域子どもクラブ事業費＞

28,534千円

学童保育所の入所希望者が増加していることなどから、地域子どもクラブの土曜日や長期休業期間中を含めた毎日実施を2校でモデル的に実施します。校庭、体育館、教室の活動場所2か所で開放事業を実施し、総合的な子どもの居場所づくりを推進します。

－ 子ども・子育て支援 －

## 【財源内訳】

都 支 出 金 16,284千円

一 般 財 源 12,250千円

## 5 図書館システムの更新

《拡充》

21,531千円

## ＜図書館システム関係費＞

平成32年度（2020年度）にリース期間が満了する図書館システムの更新を行います。更新にあたっては、パッケージシステムを利用し、経費を抑制しながら、インターネットからの資料検索機能の強化など、利用者サービスとセキュリティの更なる向上を図ります。

〔スケジュール〕

平成31年（2019年）9月～平成32年（2020年）9月 図書館システムの構築

平成32年（2020年）10月 図書館システムの稼働

〔債務負担行為の設定〕

図書館システム再構築事業 20,000千円

（平成32年度（2020年度）～平成37年度（2025年度）＜債務負担分＞388,000千円

全体事業費408,000千円）

## 6 図書館の適切な維持・補修及び滞在・交流型施設へのリニューアル 45,478千円

## ＜図書館リニューアル事業費＞

西部図書館について、平成32年度（2020年度）に老朽化した空調設備等の改修工事を行うため、設計業務に取り組むとともに、滞在・交流型図書館としてのあり方を検討します。また、三鷹図書館（本館）について、老朽化したエレベーターの改修工事を行います。

## 〔事業内容〕

平成31年（2019年）10月～12月 三鷹図書館（本館）エレベーター改修工事

－ 都市再生 －  
－ 安全安心 －

## 【財源内訳】

繰入金 19,000千円

一般財源 26,478千円

## スポーツ推進費

## 1 東京2020オリンピック・パラリンピック等の気運醸成事業の積極的な推進

## ＜東京2020オリンピック・パラリンピック等推進事業費＞ 《拡充》 16,425千円

平成32年（2020年）7月24日から開催予定の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、3つの基本目標に基づき、スポーツ関係者や大学等との連携により組織した地域連携会議を中心に、市民と一体感のある気運醸成事業を積極的に推進します。

また、平成31年（2019年）9月20日から開催予定のラグビーワールドカップ2019の開催に向けて、魅力的かつ多様なラグビー体験事業を実施します。

## 〔事業概要〕

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 13,616千円

ア 誰もがスポーツとふれあい、元気にいきいきと暮らせるまちづくり

- ・トライアスロン競技体験の実施
- ・オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室の開催
- ・事前キャンプの誘致
- ・SUBARU総合スポーツセンターにカウントダウンボードの設置
- ・スポーツボランティアのサポートスキル向上を目的とした講座の開催
- ・聖火リレー等に関する東京都等との連携
- ・東京2020テストイベント自転車ロードレース（仮称）開催への協力

- イ 三鷹の資源を生かした、安全で安心して観光できる環境づくり
- ・地域連携会議の提案による市民一体となったイベントの実施
  - ・啓発グッズ作成による気運醸成と三鷹の魅力発信
- ウ オリピック・パラリンピック教育を通じた人財育成と多様な文化を理解しあう地域づくり
- ・ポッチャ三鷹カップ（仮称）の開催
  - ・車いすバスケットボール「三菱電機WORLD CHALLENGE CUP」の観戦（第四中学校）
  - ・市民文化祭などにおいて、NHK東京2020応援ソング「パブリカ」の合唱や東京五輪音頭等を実施
- (2) ラグビーワールドカップ2019 2,809千円
- ・元日本代表選手等によるトークショー及びラグビー体験の実施
  - ・小学校タグラグビー出前教室とタグラグビー交流大会の開催
  - ・日本戦のパブリックビューイングの実施
  - ・東京スタジアムでの試合前の阿波踊りなどによる三鷹の魅力の発信
  - ・府中調布三鷹ラグビー連携事業の実施

－ 地域活性化 －

## 【財源内訳】

都 支 出 金	5,550千円	諸 収 入	3,707千円
一 般 財 源	7,168千円		

## 2 総合スポーツセンターの円滑な管理運営

278,114千円

## ＜総合スポーツセンター管理関係費＞

指定管理者である（公財）三鷹市スポーツと文化財団を中心に民間事業者や関係団体等と連携しながら、障がい者サッカー教室を拡充するなど多様なスポーツ教室や健康・体力相談事業等を通じて、スポーツに親しむ機会の創出やスポーツを取り入れた健康づくりを引き続き推進します。また、市民の健康・スポーツの拠点として、活発に行われている自主事業のスポーツ教室受講料収入等を活用し、効率的な管理運営を行います。

## 〔事業概要〕

- ・種目別個人開放事業（バスケットボール、バドミントン、卓球、ヨガ、ストレッチ、ボルダリング）
- ・高齢者・障がい者スポーツ教室
- ・スポーツ教室事業
- ・体育協会との連携事業、地域貢献事業
- ・健康・体力相談事業

## 【財源内訳】

使用料手数料	76,935千円	諸収入	5,000千円
一般財源	196,179千円		

## 3 和洋弓場の整備と運営

503,711千円

## ＜和洋弓場管理関係費、和洋弓場整備事業費＞

平成32年（2020年）2月のオープンを目指し、引き続き整備工事を行い、開館記念式典を実施します。施設運営にあたっては、指定管理者制度を導入し、広く市民に利用されるようSUBARU総合スポーツセンターと連携しながら、施設の特性を踏まえ、安全性・利便性・効率性の高い施設の管理運営を行います。

## 〔施設概要及び経費〕

和洋弓場整備工事（2階部分） 490,913千円

和洋弓場（1,079.98㎡）

弓道エリア：5人立ち28m、アーチェリーエリア：8人立ち50m

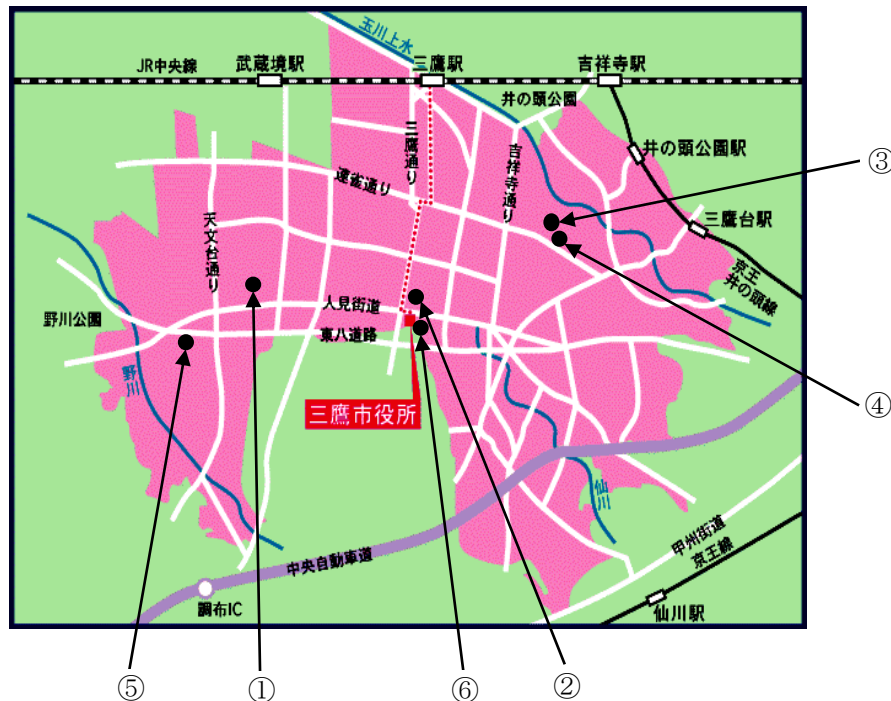
共用エリア、観覧エリア、男・女更衣室、男・女トイレ、会議室ほか

－ 都市再生 －

## 【財源内訳】

都支出金	86,000千円	市債	368,000千円
一般財源	49,711千円		

## 平成31年度に取り組む主な施設整備



## 【小学校・中学校費】

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| ①第二小学校 | 学校施設長寿命化計画（仮称）の策定と長寿命化改修工事の実施 |
| ②第一中学校 | 学校施設長寿命化計画（仮称）の策定と長寿命化改修工事の実施 |
| ③第三中学校 | 快適な学校環境の整備                    |
| ④高山小学校 | 快適な学校環境の整備                    |

## 【生涯学習費】

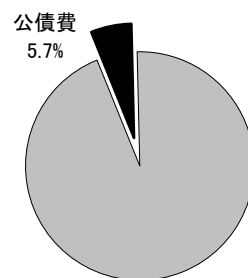
- |        |                                |
|--------|--------------------------------|
| ⑤西部図書館 | 図書館の適切な維持・補修及び滞在・交流型施設へのリニューアル |
|--------|--------------------------------|

## 【スポーツ推進費】

- |       |            |
|-------|------------|
| ⑥和洋弓場 | 和洋弓場の整備と運営 |
|-------|------------|

## 第11款 公債費

### ■一般会計に占める割合



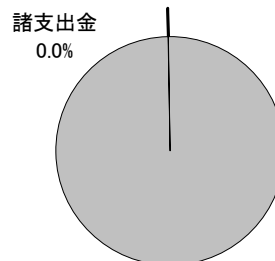
### ■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	一般会計に占める割合			
		国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成31年度	3,958,992	0	0	0	3,958,992
平成30年度	3,946,003	0	0	0	3,946,003
増△減	12,989	0	0	0	12,989

## 第12款 諸支出金

### ■一般会計に占める割合



### ■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	一般会計に占める割合			
		国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成31年度	24,232	0	0	0	24,232
平成30年度	86,273	0	0	0	86,273
増△減	△62,041	0	0	0	△62,041





# 特 別 会 計 予 算



# I 国民健康保険事業特別会計

---

平成 31 年度の歳入歳出予算額は 175 億 5,442 万 1 千円で、前年度と比較すると 1 億 6,971 万円（1.0%）の増となります。

歳出では、『保険給付費』が 2 億 6,475 万 6 千円（2.5%）の増となります。これは、全体の被保険者数は減少するものの、被保険者のうち 1 人当たりの医療費が高い 70～74 歳の高齢者数が増加していることなどによるものです。また、国民健康保険制度の都道府県単位化<sup>1</sup>により東京都へ納付する『国民健康保険事業費納付金』は 59 億 7,417 万 2 千円で、前年度と比較すると 1 億 2,625 万 3 千円（2.1%）の減となります。これは、国が定めた係数により東京都が算定したもので、東京都全体の被保険者数の減少などにより東京都全体の必要総額が減少したためです。

歳入では、『都支出金』が 2 億 2,605 万 3 千円（2.1%）の増となります。これは、歳出の『保険給付費』に連動して交付される「保険給付費等交付金」<sup>2</sup>が増となることなどによるものです。一方で、『国民健康保険税』は、被保険者数が減少していることから 4,769 万円（1.3%）の減となります。

こうしたことから、法定繰入れを含む一般会計からの『繰入金』は 830 万円（0.3%）の微減となります。

---

<sup>1</sup> 平成 30 年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保など、国民健康保険制度の運営にあたり中心的な役割を担っています。

<sup>2</sup> 葬祭費、出産育児一時金及び支払審査手数料の一部を除く保険給付費の全額が、東京都から交付されます。

(表 15) 国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳 入)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 国民健康保険税	3,646,838	20.8	3,694,528	21.2	△47,690	△1.3
2. 使用料及び手数料	55	0.0	29	0.0	26	89.7
3. 国庫支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4. 都支出金	11,170,081	63.6	10,944,028	63.0	226,053	2.1
5. 繰入金	2,710,051	15.4	2,718,351	15.6	△8,300	△0.3
1. 法定繰入金	764,012	4.3	756,376	4.4	7,636	1.0
2. その他繰入金	1,946,039	11.1	1,961,975	11.2	△15,936	△0.8
6. 繰越金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
7. 諸収入	27,393	0.2	27,772	0.2	△379	△1.4
合 計	17,554,421	100.0	17,384,711	100.0	169,710	1.0

(歳 出)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 総務費	292,825	1.7	261,319	1.5	31,506	12.1
2. 保険給付費	11,060,640	63.0	10,795,884	62.1	264,756	2.5
3. 国民健康保険事業費 納付金	5,974,172	34.0	6,100,425	35.1	△126,253	△2.1
4. 共同事業拠出金	11	0.0	11	0.0	0	0.0
5. 保健事業費	184,457	1.1	183,711	1.1	746	0.4
6. 諸支出金	35,316	0.2	36,361	0.2	△1,045	△2.9
7. 予備費	7,000	0.0	7,000	0.0	0	0.0
合 計	17,554,421	100.0	17,384,711	100.0	169,710	1.0

## Ⅱ 下水道事業特別会計

---

平成 31 年度の歳入歳出予算額は 40 億 6,368 万 4 千円で、前年度と比較すると 2 億 2,639 万 7 千円 (5.3%) の減となります。

歳出では、「維持管理費」が流域下水道等処理委託料の増などにより 3,811 万円 (2.3%) の増となります。その一方で、「建設費」は、東部水再生センターにおける長寿命化等の施設改良事業費の減などを反映し 2 億 6,053 万 7 千円 (21.2%) の減となります。

歳入では、『使用料及び手数料』が 2,813 万 8 千円 (1.6%) の減となります。これは、消費税率引き上げに伴う「下水道使用料」の改定による増があるものの、平成 32 年 (2020 年) 4 月からの地方公営企業法の一部適用に伴い「下水道使用料」が打切決算<sup>1</sup>となり、当該年度の収入であった出納整理期間中の使用料が、平成 32 年度 (2020 年度) の収入となるためです。また、歳出における「建設費」の減に伴い、『市債』が 2 億 8,250 万円 (29.0%) の減となっています。

こうしたことから、一般会計からの『繰入金』は 6,134 万 4 千円 (4.9%) の増となります。

---

<sup>1</sup> 地方公営企業法の適用に伴い、従来の官公庁会計によって処理してきた特別会計は、法適用の前日をもって終了します。そのため、平成 31 年度下水道事業特別会計予算のすべての出納は、平成 32 年 (2020 年) 3 月 31 日をもって打ち切られます。

(表 16) 下水道事業特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳入)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 分担金及び負担金	650	0.0	642	0.0	8	1.2
2. 使用料及び手数料	1,722,339	42.4	1,750,477	40.8	△28,138	△1.6
3. 国庫支出金	224,517	5.5	203,909	4.8	20,608	10.1
4. 都 支 出 金	11,204	0.3	9,758	0.2	1,446	14.8
5. 繰 入 金	1,319,806	32.5	1,258,462	29.3	61,344	4.9
6. 繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7. 諸 収 入	92,667	2.3	91,832	2.2	835	0.9
8. 市 債	692,500	17.0	975,000	22.7	△282,500	△29.0
合 計	4,063,684	100.0	4,290,081	100.0	△226,397	△5.3

(歳出)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 下水道事業費	3,208,452	78.9	3,431,955	80.0	△223,503	△6.5
1. 総務費	575,590	14.1	576,666	13.5	△1,076	△0.2
2. 維持管理費	1,661,573	40.9	1,623,463	37.8	38,110	2.3
3. 建設費	971,289	23.9	1,231,826	28.7	△260,537	△21.2
2. 公債費	852,232	21.0	855,126	19.9	△2,894	△0.3
3. 予備費	3,000	0.1	3,000	0.1	0	0.0
合 計	4,063,684	100.0	4,290,081	100.0	△226,397	△5.3

### Ⅲ 介護サービス事業特別会計

---

平成 31 年度の歳入歳出予算額は 9 億 176 万 2 千円で、前年度と比較すると 3,991 万 7 千円 (4.2%) の減となります。

歳出では、『介護サービス事業費』がどんぐり山の運営費の減などにより 3,991 万 7 千円 (4.4%) の減となります。高齢者センターどんぐり山は、平成 30 年度末で廃止となります。また、特別養護老人ホームどんぐり山は、大沢地区に平成 32 年 (2020 年) 2 月に開設予定の特別養護老人ホーム三鷹げんき (仮称) 等に入所者が移行したのち、平成 31 年度末で廃止する予定となっています。なお、どんぐり山の指定管理期間は平成 30 年度末で終了することから、平成 31 年度は管理運営を業務委託方式により実施し、引き続き入所者への丁寧な対応と円滑な運営を図っていきます。

歳入では、『介護サービス収入』が 2,747 万 8 千円 (4.5%) の減となります。これは、高齢者センターけやき苑が、高齢者センターどんぐり山の利用者の一部を受け入れたことや、牟礼老人保健施設はなかいどうが、在宅復帰・在宅療養支援の取り組みを強化したことにより増となるものの、高齢者センターどんぐり山の廃止等の影響により、全体としては減となるものです。

こうしたことから、一般会計からの『繰入金』は、997 万 2 千円 (4.1%) の減となります。

(表 17) 介護サービス事業特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳 入)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 介護サービス収入	582,891	64.6	610,369	64.8	△27,478	△4.5
2. 使用料及び手数料	31,215	3.5	32,525	3.5	△1,310	△4.0
3. 繰 入 金	233,389	25.9	243,361	25.8	△9,972	△4.1
4. 繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5. 諸 収 入	54,266	6.0	55,423	5.9	△1,157	△2.1
合 計	901,762	100.0	941,679	100.0	△39,917	△4.2

(歳 出)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 介護サービス事業費	864,825	95.9	904,742	96.1	△39,917	△4.4
1. 高齢者センター けやき苑運営費	176,181	19.5	179,912	19.1	△3,731	△2.1
2. 特別養護老人ホーム どんぐり山運営費	273,575	30.4	316,959	33.7	△43,384	△13.7
3. 牟礼老人保健 施設運営費	415,069	46.0	407,871	43.3	7,198	1.8
2. 公 債 費	33,937	3.8	33,937	3.6	0	0.0
3. 予 備 費	3,000	0.3	3,000	0.3	0	0.0
合 計	901,762	100.0	941,679	100.0	△39,917	△4.2



## IV 介護保険事業特別会計

---

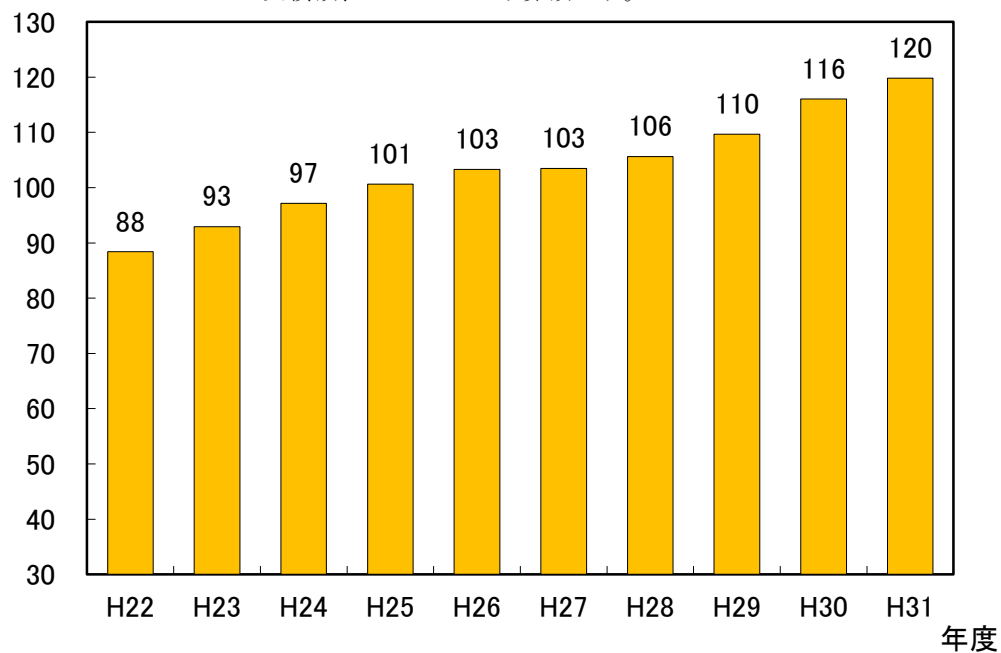
「三鷹市高齢者計画・第七期介護保険事業計画（計画期間：平成30年度～平成32年度（2020年度）」の2年目となる平成31年度の歳入歳出予算額は130億9,365万9千円で、前年度と比較すると4億1,179万9千円（3.2%）の増となります。

歳出では、『保険給付費』が、要介護認定者数及びサービス利用者数の増加などにより3億7,718万7千円（3.2%）の増となります。また、『地域支援事業費』が2,098万円（2.9%）の増となります。これは、「介護予防・生活支援サービス事業費」が利用者数の伸びを反映して増となったことなどによるものです。

歳入では、歳出の『保険給付費』などの増に伴い、『国庫支出金』が1億593万6千円（3.8%）、『支払基金交付金』が1億706万4千円（3.3%）、『都支出金』が5,809万3千円（3.2%）、それぞれ増となっています。また、介護保険保険給付費準備基金からの「基金繰入金」が5,950万7千円（52.7%）の増となったほか、「一般会計繰入金」が『保険給付費』の増や公費負担による低所得者の介護保険料軽減措置の拡充等に伴い9,898万1千円（5.2%）の増となり、『繰入金』全体では1億5,848万8千円（7.8%）の増となっています。

(グラフ 9) 介護保険保険給付費の推移

億円 ※H22～H29 は実績額、H30・H31 は予算額です。



(表 18) 介護保険事業特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳 入)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 保 險 料	2,817,728	21.5	2,835,635	22.4	△17,907	△0.6
2. 国 庫 支 出 金	2,860,733	21.9	2,754,797	21.7	105,936	3.8
3. 支 払 基 金 交 付 金	3,363,148	25.7	3,256,084	25.7	107,064	3.3
4. 都 支 出 金	1,873,123	14.3	1,815,030	14.3	58,093	3.2
5. 財 産 収 入	80	0.0	69	0.0	11	15.9
6. 繰 入 金	2,178,300	16.6	2,019,812	15.9	158,488	7.8
1. 一 般 会 計 繰 入 金	2,005,791	15.3	1,906,810	15.0	98,981	5.2
2. 基 金 繰 入 金	172,509	1.3	113,002	0.9	59,507	52.7
7. 繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8. 諸 収 入	546	0.0	432	0.0	114	26.4
合 計	13,093,659	100.0	12,681,860	100.0	411,799	3.2

(歳 出)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 総 務 費	334,359	2.6	344,805	2.7	△10,446	△3.0
2. 保 險 給 付 費	11,991,648	91.6	11,614,461	91.6	377,187	3.2
3. 地 域 支 援 事 業 費	736,182	5.6	715,202	5.7	20,980	2.9
1. 介 護 予 防 ・ 生活支援サービス事業費	421,795	3.2	401,576	3.2	20,219	5.0
2. 一 般 介 護 予 防 事 業 費	42,661	0.3	43,528	0.4	△867	△2.0
3. 包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業 費	271,726	2.1	270,098	2.1	1,628	0.6
4. 基 金 積 立 金	24,348	0.2	70	0.0	24,278	34,682.9
5. 諸 支 出 金	4,122	0.0	4,322	0.0	△200	△4.6
6. 予 備 費	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0
合 計	13,093,659	100.0	12,681,860	100.0	411,799	3.2

## V 後期高齢者医療特別会計

---

平成 31 年度の歳入歳出予算額は 42 億 6,635 万 5 千円で、前年度と比較すると 1 億 2,716 万 4 千円 (3.1%) の増となります。

長寿化の進展による被保険者数の増加などに伴い、本年度も事業費が増加することから、歳出では、東京都後期高齢者医療広域連合<sup>1</sup>へ納付する『広域連合納付金』が 1 億 3,303 万 5 千円 (3.4%) の増となります。また、『総務費』は平成 30 年度に後期高齢者医療被保険者証 (保険証) の一斉更新 (2 年ごと) を行ったことなどから 846 万 2 千円 (7.6%) の減となります。

歳入では、被保険者数の増加や保険料の軽減特例の段階的な見直し<sup>2</sup>などにより、『後期高齢者医療保険料』が 7,189 万 1 千円 (3.2%) の増となります。また、一般会計からの『繰入金』も、歳出における『広域連合納付金』の「療養給付費負担金」の増などに伴い、6,232 万 3 千円 (3.5%) の増となります。

東京都後期高齢者医療広域連合では、保険料の抑制を図るため、全国で唯一、すべての市区町村の負担による特別対策を実施しています。三鷹市においても、葬祭費や審査支払手数料、保険料未収金補填分などに係る財源負担を引き続き行い、保険料全体の抑制を図っています。

---

<sup>1</sup> 後期高齢者医療制度は、都内すべての市区町村で構成する東京都後期高齢者医療広域連合が運営主体となっています。市区町村は、申請受付や保険料徴収などの窓口業務等を行うとともに、同広域連合に納付金を納付するなど制度の運営を担っています。

<sup>2</sup> 均等割額の特例軽減 (所得に応じた軽減) ※元被扶養者軽減を除く。

現 行 : 7 割軽減に上乘せし 9 割軽減または 8.5 割軽減

平成 31 年度 : 9 割軽減 → 8 割軽減

8.5 割軽減 → 継続 (平成 31 年 (2019 年) 10 月の本則適用後、1 年間に限り国の補填により継続)

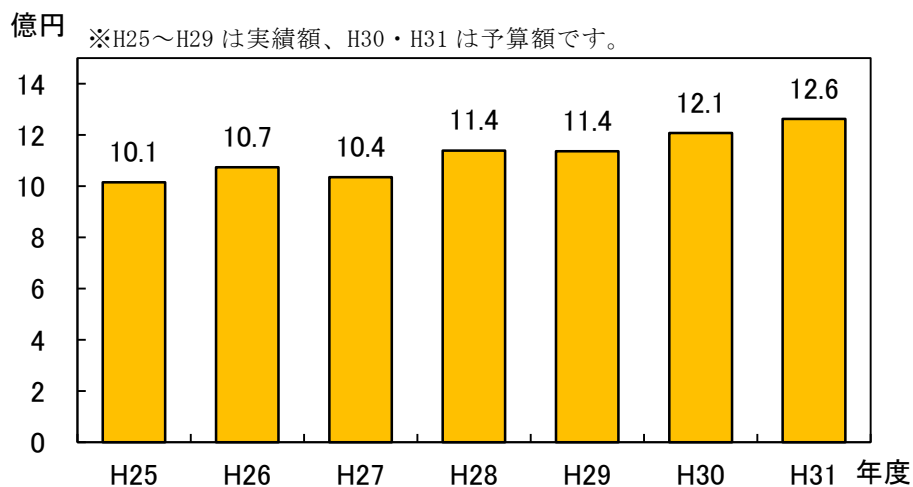
平成 32 年度 : 9 割軽減 → 7 割軽減 (本則)

(2020 年度) 8.5 割軽減 → 7.75 割軽減

平成 33 年度 : 全て 7 割軽減 (本則)

(2021 年度)

(グラフ 10) 後期高齢者療養給付費負担金の推移



<療養給付費負担金>

医療費等に係る公費負担分（医療費等全体の約5割）のことで、市区町村は  
 [国：都：市区町村=4：1：1]の負担割合で広域連合に納付します。

(表 19) 後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳入)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 △減	
	予算額 千円	構成比 %	予算額 千円	構成比 %	金 額 千円	比 率 %
1. 後期高齢者医療保険料	2,322,738	54.5	2,250,847	54.4	71,891	3.2
2. 使用料及び手数料	1	0.0	1	0.0	0	0.0
3. 繰入金	1,818,267	42.6	1,755,944	42.4	62,323	3.5
4. 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5. 諸収入	125,348	2.9	124,514	3.0	834	0.7
(国庫支出金)	—	—	7,884	0.2	△7,884	皆減
合 計	4,266,355	100.0	4,139,191	100.0	127,164	3.1

(歳出)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 △減	
	予算額 千円	構成比 %	予算額 千円	構成比 %	金 額 千円	比 率 %
1. 総務費	103,559	2.4	112,021	2.7	△8,462	△7.6
2. 広域連合納付金	4,037,742	94.6	3,904,707	94.3	133,035	3.4
3. 保健事業費	117,554	2.8	114,463	2.8	3,091	2.7
4. 諸支出金	4,500	0.1	5,000	0.1	△500	△10.0
5. 予備費	3,000	0.1	3,000	0.1	0	0.0
合 計	4,266,355	100.0	4,139,191	100.0	127,164	3.1

## VI 主要事業の概要

※特定財源がある事務事業についてのみ  
【財源内訳】欄を設けています。

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算額

### 国民健康保険事業特別会計

#### 1 国民健康保険税の軽減措置の拡充 《拡充》 1,924千円

＜歳入：一般会計繰入金（保険基盤安定繰入金（保険税軽減分））＞

国民健康保険税の均等割額について、低所得世帯に対する軽減措置を拡充します。

〔軽減措置の拡充内容〕

	平成30年度	平成31年度以降
7割軽減	所得合計が33万円以下の世帯	→ 変更なし
5割軽減	所得合計が33万円 + (27万5千円×被保険者数) 以下の世帯	→ 所得合計が33万円 + (28万円×被保険者数) 以下の世帯
2割軽減	所得合計が33万円 + (50万円×被保険者数) 以下の世帯	→ 所得合計が33万円 + (51万円×被保険者数) 以下の世帯

－ セーフティーネット －

#### 2 特定健康診査・特定保健指導の推進 《拡充》 432千円

＜特定健康診査等事業費＞

生活習慣病の予防・改善や特定健康診査の受診率向上を図るため、「第二期三鷹市国民健康保険保健事業計画（データヘルス計画）・第三期三鷹市特定健康診査等実施計画」に基づき、SUBARU総合スポーツセンターを活用したインセンティブ事業を実施します。なお、市指定の家庭系ごみ収集袋の配布事業は、平成30年度末で終了します。

〔事業概要〕

開催回数	年間3コース程度
対象者	特定健康診査の未受診者等
事業内容	健康に関するオリエンテーション、体成分測定、健診結果に基づいた運動プログラムの提供等

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

都支出金 432千円

## 下水道事業特別会計

## 1 下水道事業への地方公営企業法の適用に向けた取り組み 9,133千円

## ＜地方公営企業法適用関係費＞

平成28年度に策定した「下水道事業地方公営企業法適用基本方針」に基づき、計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図るため、平成32年（2020年）4月からの「地方公営企業法」の一部適用（財務適用のみ）に向けた取り組みを推進します。

〔主な経費内訳〕

- ・会計処理方針の策定や勘定科目の設定などの移行支援業務 4,200千円
- ・会計システムサービス利用料 4,532千円

## 2 都市型水害対策の推進 48,371千円

## ＜都市型水害対策事業費＞

都市型水害への対策として、井の頭一丁目付近に新たな雨水管を整備し、浸水被害等の軽減を図ります。

〔事業概要〕

雨水管の整備 整備延長190m

－ 都市再生 －  
－ 安全安心 －

【財源内訳】

市 債	48,300千円	一 般 財 源	71千円
-----	----------	---------	------

## 3 下水道施設の長寿命化の推進 637,610千円

## ＜下水道長寿命化事業費、東部水再生センター施設改良事業費＞

下水道管路については、管更生工事及びマンホール蓋の取替工事等を実施します。

また、東部水再生センターでは、平成31年度～平成32年度（2020年度）の2か年で、消毒設備の改築工事及び水処理施設等の監視制御設備等更新工事（第3期分）を行うなど、「下水道再生計画」に基づく下水道施設の長寿命化に取り組めます。

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算額

〔経費内訳〕

- ・下水道管路  
管更生工事、人孔蓋取替工事等 242,325千円
  - ・東部水再生センター  
消毒設備の改築工事、監視制御設備等更新工事 395,285千円
- (平成32年度(2020年度)〈債務負担分〉745,371千円 全体事業費1,140,656千円)

－ 都市再生 －  
－ 安全安心 －

【財源内訳】

国庫支出金	210,740千円	都支出金	10,516千円
市債	405,500千円	一般財源	10,854千円

4 下水道地震対策整備の推進 18,032千円

＜下水道地震対策整備事業費＞

「下水道再生計画」に基づき、防災拠点周辺の管路施設に震災用トイレます等を設置し、災害時等における下水道施設の機能確保を図ります。

〔事業概要〕

震災用トイレます等の設置工事  
(国際基督教大学、恵比寿苑、大沢地区公会堂等)

－ 都市再生 －  
－ 安全安心 －

【財源内訳】

市債	18,000千円	一般財源	32千円
----	----------	------	------



## 介護保険事業特別会計

## 1 「三鷹市高齢者計画・第八期介護保険事業計画」の策定に向けた取り組み

＜介護保険事業計画策定関係費＞ 《新規》 233千円

平成33年度（2021年度）から平成35年度（2023年度）までを計画期間とする  
「三鷹市高齢者計画・第八期介護保険事業計画」の策定に向けて、平成31年度に  
検討市民会議を設置し、検討を進めます。

平成32年度（2020年度）の策定に向けて、平成31年度に実施する高齢者等の実  
態やニーズなどの調査を活用します。

〔債務負担行為の設定〕

策定支援業務委託料 103千円

（平成32年度（2020年度）〈債務負担分〉4,298千円 全体事業費4,401千円）

〔関連事業費〕

・一般会計（民生費）

高齢者等実態調査事業費 5,500千円（84ページ参照）

－ 健康長寿社会 －

## 2 介護保険料の低所得者向け軽減措置の拡充 《拡充》 59,578千円

＜歳入：一般会計繰入金（低所得者保険料軽減繰入金）＞

平成27年度から一部実施している公費負担による低所得者の介護保険料の軽減  
措置について、平成31年（2019年）10月の消費税率の引き上げにあわせて、更なる  
拡充を図ります。なお、公費負担による拡充については、段階的に実施します。

〔軽減措置の拡充内容〕

		所得段階第1段階		所得段階第2段階	
		負担割合	年額保険料	負担割合	年額保険料
軽減前		0.418	28,800円	0.644	44,400円
軽減後	平成30年度	0.400	27,600円	-	-
	平成31年度(2019年度)	0.348	24,000円	0.522	36,000円
	平成32年度(2020年度)	0.296	20,400円	0.400	27,600円

※基準となる負担割合 15ある所得段階のうちの第5段階（年額保険料69,000円）

－ セーフティーネット －

平成 31 年 2 月

平成 31 年度  
施 政 方 針  
予 算 概 要

発 行 三鷹市  
三鷹市野崎一丁目 1 番 1 号  
法人番号：8000020132047  
作 成 三鷹市企画部財政課  
0422-45-1151（内線 2122～2128）

この冊子は庁内で印刷・製本しています。

